

令和3年5月 経営協議会（対面・オンライン併用）議事録

I. 日 時 令和3年5月20日（木） 14時00分～16時04分

II 場 所 千葉大学けやき会館 レセプションホール（3階）

III. 出席者 中山学長、犬養、岩田、香藤、黒木、島田、銭谷、西堀、萩原、
船橋、正宗、宮坂
中谷、渡邊、藤江、金原、手島、堀、岩崎、小澤、佐藤（之）、
松原、横手、諏訪各委員

がざー 角倉、山本各監事
（欠席者：有馬、加賀見、河田各委員）

IV. 前回議事録について
原案のとおり承認された。

V. 審議事項

1. 令和4年度施設整備費要求事項（案）について
手島理事から、令和4年度施設整備費要求事項（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

V. 協議事項（◎学外委員、○学内委員）

1. 令和2年度外部研究費受入状況と獲得増に向けた今後の対応について
中山学長から、令和2年度外部研究費受入状況と獲得増に向けた今後の対応について、協議したい旨発言があり、藤江理事から、資料に基づき説明があった後、意見交換が行われた。

主な意見は以下のとおり

- ◎ 特徴のある研究を進めることがとても大事である。
また、宣伝によって、大学に対する見方が変わり、回り回って科研費にも影響するので、大学のPRも頑張ってもらいたい。
- 全体的に活性化していきたい。科研費の申請で採択されないという不安を少しでも取り払うため、大学として支援を進めていく。
- ◎ 科研費の獲得にあたっては、グローバルな視点が必要になってくる。また、若手の先生が科研費を申請しやすい環境作りが必要。
- ◎ 文系の応募が少ないため、これを多くするには、優先的に特異な分野や特色のある研究をしている分野を把握し、その研究を大学としてバックアップすることが必要。

- 人文社会系は、共同研究を組織化していかないと大きな種目を獲得するのは困難。現在、約7割の教員が、何らかの形で科研費を獲得しているが、金額としては小さいため、どのような形で大きな研究チームを作っていくかが課題になる。
- ◎ 融合研究を行い、新しい分野を打ち出すというような工夫が必要。

VI. 報告事項（◎学外委員、○学内委員）

1. 令和2年度の資金運用実績および令和3年度第1回千葉大学資金運用管理委員会報告事項等の報告について

手島理事から、令和2年度の資金運用実績および令和3年度第1回千葉大学資金運用管理について、資料に基づき報告があった。
2. 令和3年度千葉大学入学状況等について

渡邊理事から、令和3年度千葉大学入学状況等について、資料に基づき報告があった。
3. 新型コロナウイルスへの対応について

中谷理事から、本学における新型コロナウイルス感染者等の状況について報告があった。続いて、小澤副学長から、現在の授業の実施状況について報告があった。続いて、横手副学長から、附属病院における新型コロナウイルスへの対応状況について報告があった。
4. 墨田キャンパスおよび医学系総合研究棟の施設紹介について

渡邊理事から、墨田キャンパスの施設について、資料に基づき紹介があった。続いて、松原医学研究院長から、医学系総合研究棟について、資料に基づき紹介があった。

主な意見は以下のとおり

 - ◎ 墨田キャンパスについて、研究などを支える資金をどのように集めてくるのか、また、その資金をどのように活用するのか、ということパンフレットに盛り込んでどうか。
 - 今後作成予定のパンフレットには、そのような観点も是非取り入れていきたい。
 - ◎ 医学系総合研究棟について、アクティブラーニングをする場を細かく分けて作っているが、「知恵と歴史の部屋」などの名称にちなんだコレクションのようなものが置かれても良いのではないか。
 - まだ確定はしていないが、是非、旧医学部棟の歴史的な古い機材などを展示できればと考えている。
 - ◎ 旧医学部棟は、今後どのように活用予定か。
 - 旧医学部棟は、頑丈ではあるが重過ぎるため、耐震も踏まえ、医学系総合研究棟の建設となった。歴史的な建造物で、我々も非常に残したいという思いはあるが、一方でそのまま残しても使えないという部分もあるため、亥鼻キャンパスの再開発の中で、複合的に検討していきたい。

5. その他

- ① 千葉大学ホームページ「学長室のいち推し」について
中山学長から、千葉大学ホームページ「学長室のいち推し」について、資料に基づき報告があった。
- ② 令和3年度経営協議会開催日程等について
中山学長から、令和3年度経営協議会開催日程等について、資料に基づき報告があった。

以 上